



荒川区国際交流協会 事務局だより

2017年
10月号

2017年10月26日発行

編集・発行 荒川区国際交流協会事務局

〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 荒川区役所地域文化スポーツ部 文化交流推進課内

HP <http://www.arakawa-kokusai.com>

E-mail: bunka@city.arakawa.tokyo.jp Tel: 3802-3798 Fax: 3802-4769

事業報告



～日本語教室・日本語サロン2学期がスタート～

9月7日(木)から日本語教室、日本語サロン、親子サロンの2学期がスタートしました。1学期に引き続き、多くの受講生のご参加により昼教室・夜教室ともに楽しい授業や交流がはじまりました。この事業にご協力をいただいている日本語教室の先生、またボランティアの皆さまのご協力に感謝いたします。皆さまのおかげで、荒川区在住の外国の方が地域に親しみを感じ、地域での交流がさらに積極的に行われていくことを期待しています。2学期もどうぞ宜しくお願いいたします。

～第2回目 外国人おもてなし語学ボランティア育成講座(英語)を開催しました～

10月22日(日)に、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、外国人観光客等が安心して滞在できる環境を整えるため、おもてなしができる「外国人おもてなし語学ボランティア」の養成講座(英語)を開催しました。33人もの方に受講いただき、皆様の関心の高さがうかがえました。

事業予定



～日唄ヴァイオリン&ピアノリサイタル～

繊細かつ力強いピアノの演奏で観客を魅了するオーストリアの若手音楽家、アンナ・マグダレーナ・コーキッツと、ウィーン・フィル・ハーモニー管弦楽第二首席ヴァイオリニスト、クリストフ・コンツが音楽の都ウィーンのクラシックをお届けします。

日時 11月1日(水)
(18時30分開場 19時開演)

会場 日暮里サニーホール

入場料 一般2,000円
ペア・チケット(一般2枚)3,000円
大学生以下・荒川区国際交流協会賛助会員
1,000円
ACC友の会会員1,800円

～国際交流サロン 茶道教室～

本格的な茶道のお点前を学べる教室です。美味しい抹茶と和菓子を楽しみながら、日本の伝統文化に触れてみませんか。日本人の方も以前に参加したことのある方も参加できます。皆さまの参加をお待ちしております。

日時 11月10日(金)
午前10時30分から正午
場所 アクト21(男女平等推進センター)(東尾久5-9-3)
3階 第3会議室(和室)
参加料 500円(外国人は300円)



ウィーン派遣 高校生による報告

～ウィーン派遣研修について～



派遣生リーダー
松村さん
(高校2年生)

今回の派遣は私にとって2回目の海外研修でした。前回イギリスへ語学研修に行った時、自分の中で達成できなかったことがあったので、今回はコミュニケーションを多く取ること、優柔不断にならず何でもチャレンジすることを念頭において臨みました。私は事前研修のテーマにしていたマリアテレジアだけでなく、美術にも関心を持っていたので宮殿や王宮、美術館などを訪れることができとても光栄でした。

～ウィーンの高校生を受け入れた感想～

ウィーンでお別れをしてから1週間、またウィーンの高校生と会えるのをとても楽しみにしていました。ウィーンの高校生は好奇心旺盛な人が多く、街を歩いているだけでも疑問が多く飛び交い、私にとっては日本文化を考え直す良いチャンスとなりました。平日のプログラムでは日本の伝統文化を学び、プログラム後は東京の今の文化を伝えることができたので、日本の様々な面を知ってもらえてよかったです。

～ウィーン派遣を終えた感想～



石井さん
(高校2年生)

私はウィーンに滞在していた10日間毎日日記を書いていたのですが、日にちが経つにつれ日本人メンバーはもちろん、ウィーンの高校生たちとも仲良くなっていることがよくわかりました。その中でも印象的だったのはドナウ川で飛び込みをしたことです。ドナウ川は水深6メートルもあるらしく、飛び込み台も3メートルくらいの高さがあります。「みんなやったから次は君の番だよ」と言われた時は本当に怖かったです。けれどそこで勇気を振り絞って飛び込んだことで、少し怖いものが減った気がします。ウィーンから帰る日は本当にあっという間にやってきて、10日後に会えるのに私とバディの子だけ別れるときに泣いてしまいました。

～ウィーンの高校生を受け入れた感想～

今までホームステイを受け入れた経験は私自身何度もありましたが、ここまで子供だけで物事を進行していくのは初めてだったので正直かなり緊張しました。ですが、それ以上に10日ぶりに会えた嬉しさの方が大きかったです。ちょうど日本人メンバーのリーダーが8月生まれだったので、男女で分かれてお互いに向けてケーキを作って誕生日会もしました。サプライズも成功して、思い出に残ったホームパーティだったと思います。

～ウィーン派遣研修について～



大野さん
(高校2年生)

ウィーンに行く前までは、言語や文化の違いから上手くやっていけるかどうかとても不安でしたが、ホストファミリーが温かく迎えてくれ、楽しく充実した10日間を送ることができました。私はホームステイの経験がなく、自分の英語がどのくらい通じるのか心配をしていましたが、いざ行ってみると思っていたよりも会話をすることができて自信につながりました。文化の違いは一緒に生活する中で度々感じましたが、それも面白い経験の1つだったと思います。ホストファミリーも最初は気を遣って私に合わせようとしてくれていましたが、私がオーストリアの日常生活を体験したいと伝えると、まるで家族のように普段通りに接してくれ、オーストリアの実際の生活を体験することができたと思います。



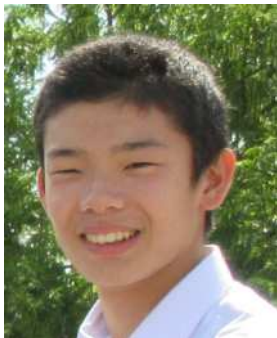
岡崎さん
(高校2年生)

~ホストファミリーへの感謝のメッセージ~

10日間、楽しくオーストリアでの時間を過ごせたのは、優しくて素敵なホストファミリーのおかげです。英語が決して得意でなかった私を温かく迎え入れてもらえてとても嬉しかったです。夜遅くまでみんなでゲームしたことも、鶏が走り回る庭でお昼ご飯を食べたことも、色々な場所をお散歩したことも全部全部最高の思い出です。素敵な思い出をありがとうございました。

~ウィーンの高校生を受け入れた感想~

私の家では私以外家族全員英語が話せないなので、受け入れは少し不安でした。ですが、父も、母も、弟も知っている単語をフル活用して、Google翻訳にも頼りながらコミュニケーションをとることが出来ていたのが良かったです。



田村さん
(高校1年生)

~受け入れた時の感想~

一番思い出に残っていることは、家族で温泉に行ったことです。男なら裸の付き合いが一番！！自分のことを理解してもらうには隠し事をなくして全てをさらけ出すべき！これが私の持論です。本当の意味で全てをお互いさらけ出したので、さらに絆が深まりました。そこでは様々なことを話しました。愚痴や相談、本音など、言葉にも偽りを持たずに全てをさらけ出したので、信頼できる友達が増えました。

~これからの人生でしたいこと~

broken Englishの本をつくる 皆と一緒にお酒とバーベキューをやる
デイビッドにとてもいいトランポリンを買う ウィーンの家族に会いに行く
ウィーンでオペラをやる 皆とまた柔道をやる 警察官になる ドナウ川を泳ぎまくる 涙もろいのをなおす もっとホームステイをやる！！！！



登さん
(高校2年生)

~ホストファミリーへ感謝のメッセージ~

一日目に家についた時から「あなたは、家族の一員だから自分の家のように何でも使って！」と親切にしてくれました。私が英語以外の言語に興味を持っていたこともあり、私とディレクとの会話のほとんどは言語に関するもので、ふとした瞬間にドイツ語、スペイン語、トルコ語を教えてもらいました。発音がとても難しかったのですが、ディレクは全く妥協をせずに、厳しく指導してくれました。私にとって忘れることのできない貴重な体験ができました。本当に感謝しています。

~ウィーン派遣を終えた感想~

日本人とオーストリア人とでの物事のとらえ方の違いを知ることが出来ました。そして、このような難しい問題について毎日話し合ったことは私の英語力の向上、英語に対する自信にも繋がりととても良い経験になりました。しかしその一方で、日本で起こった出来事や国外の時事に対する自分の知識の少なさを痛感させられました。

お知らせ



～平成29年度第2回理事会が開催されました～

10月17日(火)に、平成29年度第2回理事会が開催されました。平成29年10月20日で理事の任期(2年)が満了することもあり、新理事の選任が行われました。新たな理事長として、武蔵学園学園長の有馬朗人氏が選任されたほか、東京商工会議所荒川支部副会長の井上浩氏、東京荒川ロータリークラブで荒川区リサイクル事業協同組合理事長の久保信隆氏、荒川区国際俳句振興会議委員で荒川区のフォト俳句の選者もお務めいただいた対馬康子氏、日本舞踊藤川流2代目家元で荒川区の「しあわせ通り 荒川区商店街の歌」の振り付けをされた藤川澄十郎氏、荒川区男女共同参画社会推進計画策定委員会委員、人権擁護委員で、荒川区南千住で「汐たま」という子育てサロンの運営に携わっていた音楽療法士の松熊貴代氏の6名の理事が選任されました。

2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、今後ますます荒川区国際交流協会の担う役割も重要になることが見込まれることから、様々な視点、特に日本文化の発信というような視点での発想からのご意見をいただき、今後ますます運営を充実したものにしていきます。

～協会役員のご退任～

長年に渡り、荒川区国際交流協会のためにご尽力いただいた折原征一理事、竹内渥躬理事は任期満了に伴い、ご退任されることとなりました。折原理事は16年、竹内理事が12年お務めいただきました。長い間、お2人に大変お世話になりました。事務局員一同、心から感謝申し上げます。



～賛助会費納入のお願い～

国際交流協会では、「草の根の国際交流の推進」を目的に、平成5年に発足して以来、皆様のご支援のもと、さまざまな事業を実施してきました。国際交流協会の事業は、在住外国人の支援 海外都市との友好親善 国際理解の推進等を目的としており、具体的な事業としては、「外国人のための日本語教室」、「日本語サロン」、「ウィーン市ドナウシュタット区との高校生相互派遣」、「済州青少年国際フォーラム派遣」、「外国人による日本語スピーチコンテスト」、「国際交流サロン」等を実施しています。

こうした事業を展開していくためには、皆さまからの賛助会費によるご支援が欠かせません。つきましては、賛助会員の皆さま宛に、平成29年度分の賛助会費納入のお願いと郵便為替用紙を10月中にお送りします(既に納入していただいた方にはお送りしません)。大変お手数ですが、11月20日までにお振り込みいただくか、協会事務局にお持ちくださいますよう、宜しくお願いいたします。

また、国際交流協会では、新たに賛助会員になってくださる方も募集しています。協力会員に登録されている方で、新たに賛助会員にご協力いただける方は、事務局へお知らせください。

賛助会費

個人会員 一口 2,000円/年 団体・法人会員 一口10,000円/年

「事務局便り」をe-mailで配信します！ ぜひ、ご利用ください！

メール配信の方には、事務局便りだけでなく、オーストリア観光局の配信等国際交流に関する様々な情報をお届けしております。

是非ご登録ください。詳しくは事務局までご連絡ください。

e-mail : bunka@city.arakawa.tokyo.jp

編集後記

いつからか次第に日本でもハロウィンが盛んに行われるようになりました。魔女やお化けに仮装した子供たちが近くの家を1軒ずつ訪ねては「トリック・オア・トリート」と唱えてお菓子をもらって回るのも、地域の大人たちと子供の一つの交流の形なのかもしれません。小西